

時期	体育会ワンダーフォーゲル部	石楠花会西岡監督	若手OGOBグループ (LINE)	石楠花会幹事会	大学学生部
令和4年3月頃	令和4年度年間活動予定立案	西岡監督就任		石楠花会通信Vol.80にてOGOBへ周知	
同3月	春合宿 (入笠山)	企画検討事後承認		事後承認 (60年次市嶋氏協力)	承認
同7月?	夏合宿計画実施準備 アルプス甲斐駒ヶ岳仙丈ヶ岳2泊3日 参加者 (3年・1年) 令和4年発の合宿	7月29日 画入手検討天候悪化の際の行動などを検討するよう指示	企	西岡監督の承認に伴い自動的に承認	承認
8月18日	夏合宿開始 ベースキャンプでテント設置時に問題発生 持参したテント4張のうち2張使用不能 夜に至り天候悪化によりテント浸水使用可能なテントに緊急避難				8月上旬企画書を学生課に提出承認を受ける
8月19日	朝より雨 雷天候回復を待って行動開始を予定していたが、装備が浸水等で使用不能と判断される事態前夜からのトラブルで体調悪化した部員もあり、合宿中止を判断下山	西岡監督へ合宿中止の電話連絡		西岡監督より報告連絡	
	【反省と対策】 石楠花会通信Vol.81記事より転載 ○装備点検を怠った (3年多忙、2年不在のため、指示を出す部員がおり、以前使用した装備を使用) ○事前に必ず備品チェックする ○3年不在の時でも活動できるよう次のリーダーの選任 ○部活の情報共有	現役に今回の事態に至った原因と対策をまとめるよう指示		現役部員へ報告書提出するよう、西岡監督へ依頼	
8月25日		熊崎課長と研究発表会の件打合せ			学生課熊崎課長より11月23日開催の国立登山研修所研究会への出席と設営時協力の依頼
11月23日	国立登山研修所研究会出席と設営協力	研修会出席と設営協力 セミナー終了後現役部員とミーティング			
12月5日		現役へアスリートセミナーへの出席要請連絡		春合宿企画の件で状況を確認し、現役部員には手続の不備を修正を指示。また計画に不備ある場合は合宿実施を認めない旨通達した。現役には西岡監督の指示に従うよう指示した。	熊崎課長より成蹊アスリートセミナー開催案内と出席要請
12月21日	春合宿計画書を大学学生課に提出。 監督への説明、チェックを受けず提出したため学生課よりその部分を指摘される	学生課熊崎課長よりワンゲル現役からの企画提出について確認事項あり回答を求められた。			却下 春合宿計画書への指摘事項 ○監督・OB会からの承認を得たのか？ ○コロナ対策ガイドラインの記事の『懇親を目的とする合宿は認めない』に抵触するのでは？
12月29日	西岡監督との打合せ (ZOOM)	現役部員との打合せ (ZOOM)			
2023年1月9日		若手OGOBグループラインで現役春合宿計画について討議したい旨打診した。 大学生の合宿は目標立案、達成のための準備、実行、達成のための努力が重要であると考える。 若手OGOBの意見を参考にして現役春合宿計画を承認するか否かを決めたいので意見が欲しい。	土居さん(13年次) ガイド雇用の登山を否定はしないが、今後の冬山合宿への布石であれば理解できるが、接待的登山になってはいけないと思う。ワンゲルの合宿として少し恥ずかしいかも、、、		
	4年有水くんから 我々の経験実績から春合宿のコースをOBやガイドの協力がなければ歩けない。今回のこのコースでの経験で先輩は次年度以降自力でできるようにしてほしいと考える。この調整を恥とは思わない。				
	深見主将から 春合宿でのガイド同伴などワンゲルのこれまでから考えるに不遇であると思うが、我々の現在の状況 (1年の経験のなさ、2年部員の欠落、3年の指導力不足などコロナ世代でのレベル低下) の中でこれから同レベルを上げていかを話し合っている。				
			黒山さん(15年次) 現役の意見を尊重して活動させてほしいと思う。OB会がブレーキをかけるのは危険性が高い時で、現役のやりたいことに安易にブレーキはかけないで。現役が雪山登山を目指すのであればそれを前向きにとらえて、石楠花会として助言していくべき。研修会参加や資料収集などの助言をあげてほしい。		

			<p>吉賀さん(11年次) 現役部員へ質問したい。何故雪山に行きたいのか？何故自分の今の力で行ける所に行かないのか？夏合宿で問題の起きたテント宿泊をなぜしないのか？(計画では60年次市嶋さん宅に宿泊を前提)OBに助力を求めずガイドを雇用する理由は何？ 夏合宿での失敗を反省し対策を取り、夏合宿の反省を生かした計画、準備、実行が必要ではないか。失敗したポイントを見直すことが本質的ステップアップになるのでは？</p>		
1月10日			<p>久保田さん(17年次) ガイド雇用の登山を否定はしない。ただその場合のガイドは危機管理やリーダーとしての機能であり、ワンゲルの合宿でその部分をガイドに任せるのは疑問。自分たちでその大事な能力を身に付けてほしいし、その協力を若手OGOBはやります。</p>		
			<p>岡本さん(12年次) ワンゲルは山岳部との違いは本格的雪山はやらない事であった筈。その一線を越えようと思うのであれば技術研修などが必須で計画的に行うべきではないか。今回の合宿が長期的視野に則った。雪山をワンゲルで行うと決めたのであればその準備計画の一環であれば応援もする。</p>		
			<p>村上さん(06年次) 春合宿の企画書を見て、エスケープルートや緊急時の食糧計画、緊急事態発生時の対応策、山岳保険加入の有無などが不足している。危険の少ないルートだから問題はないと思うが、今後の楽しみ方をガイドからではなくOBや仲間から教えてもらってほしい。</p>		
			<p>平井さん(05年次) 合宿としてガイド登山と装備がすべてレンタルという部分は問題だと思う。長期的視野に立って雪山などを行うのであれば装備は自前で揃えるべき。ガイドをつけないといけない雪山に行くのであれば山での経験を積むために長期の宿泊する計画がステップアップに役立つのではないかと。山岳保険加入は義務です。</p>		
1月13日			<p>新井さん(16年次) 合宿でガイドをつけてまで行くのであればその理由をもっと明確にすべきではないか。緊急連絡先をもっと詳細に確認すべきではないか？ 自分が学生の時もOBから様々な指摘を受けた。当時は耳が痛かったがOBは学生にいろんな経験をしてほしいと思いつつ、自然のこわさを知っているからこそ心配して動いてくれたと、今は思っている。</p>		
1月14日	<p>春合宿に関してOBとのミーティング 見主持出席 右記石楠花会見解を納得</p>	<p>深 現役部員とのミーティング</p>		<p>花上会長、千葉、西岡監督、13年次土居と現役深見主持春合宿に関する最終打合せ 【現役春合宿計画に対して石楠花会としての見解】 現役部員より提出のあった八ヶ岳北横岳春合宿については監督及び若手OGOBの意見を参考にして検討したが合宿として認めない。但し部員有志による個人山行として実施することは当会として関与しない。</p>	
1月末		<p>学生課に対して、西岡監督から北横岳への登山計画は個人山行である旨説明した</p>			<p>学生部了承</p>